

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 3月～ 」

スポーツ課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第4回全日本女子アマチュア ボクシング大会 演技の部軽量級	優勝	H18.3.11	田中 愛美 (多治見北高1年)		初出場の緊張や、大会当日主催者から指示された演技内容変更のアクシデントにもかかわらず、天性のスピードと闘争心で栄冠を勝ち取った。 (兵庫県：加古川市立体育館)
スノーボードワールドカップ 富良野大会 女子ハーフパイプ	3位	H18.3.18	中島 志保 (ヨネックス)	養老郡養老町	トリノ五輪で上位を独占した米国のプロや北欧勢が不参加の中、日本勢としては山岡(アネックス：トリノ五輪代表)の2位に続いて3位に入賞した。 (北海道：富良野スキー場)
第1回ワールド・ベースボール・ クラシック(国、地域別対抗戦： WBC)	優勝	H18.3.21 (現地3.20)	和田 一浩 (西部ライオンズ)	県岐阜商高卒 (岐阜市鷺山出身)	日本チームは、予選でもたついたものの、準決勝6-0で韓国を、決勝10-6でキューバを下し、初代世界王座についた。 (米国カリフォルニア州サンディエゴ：ペトコパーク)
第12回全日本スキー選手権大会 スノーボード競技 女子ハーフパイプ	優勝	H18.3.26	中島 志保 (ヨネックス)	養老郡養老町	トリノ五輪代表の伏見知何子(3位) 山岡聡子(10位)らを振り切って30.7点をマークし初優勝を遂げた。 (北海道：津別)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第17回全国高校選抜ボート大会 女子ダブルスカル	優勝	H18.3.26	彦坂 絵美 小川 あみ (加茂高2年)		女子ダブルスカル決勝において両名はスタートから他チームをリードして8分6秒15のタイムをマークし、2位に3秒以上の大差をつけて優勝した。 (静岡県浜松市：天竜ボート場)
全国高校選抜空手道大会 女子形の部	準優勝	H18.3.26	寺澤 慶子 (岐南工高2年)		3回戦、準々決勝ともにスピード系の技で5-0で完勝した。準決勝では萩原(山梨)に3-2で競り勝ち、決勝は準決勝と同じ「アーナン」を演じたが2-5と敗れ国体に続いて準優勝となった。 (愛媛県：愛媛県武道館)
全国高校選抜ホッケー大会 女子	優勝	H18.3.30	岐阜各務野高		昨年決勝で3敗した宿敵羽衣学園(大阪)を相手に2-4の逆境を跳ね返して5-4のスコアで見事2年ぶり15度目の優勝を飾った。 (高知県：土佐山田スタジアム)
全国高校選抜ホッケー大会 男子	準優勝	H18.3.30	岐阜総合学園高		決勝は組織プレーで高い個人技の伊吹(滋賀)と対戦した。前半は互角に戦ったものの、後半にリズムが乱れ、1-4と惜敗した。 (高知県：土佐山田スタジアム)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
全国高校選抜レスリング大会 84kg級	準優勝	H18.3.29	鈴木 聖二 (岐阜工高2年)		準決勝までは、持ち前のスピードを生かし、片足タックルを有効に使って勝ち進んだ。決勝は実力で他を圧倒する永田(京都・網野)から1P奪ったが惜しくも逆転された。 (新潟県：新潟市体育館)
団体	第3位	H18.3.28	岐南工高		準々決勝で県勢同士の対戦となった中津商高戦を制した岐南工高は、準決勝の網野(京都)戦で「コイントス」の抽選でことごとく劣勢に回り2-5と惜敗した。(同上)
96kg級	第3位	H18.3.29	伊藤 信明 (加茂農林高2年)		優勝候補の伊藤は準決勝までは順当に勝ち上がったが、高砂(山形・山形商)に2Pでフォール負けを喫し、決勝進出を逃した。 (同上)
全国高校選抜体操大会 女子 個人 床	第3位	H18.3.28	深尾 明希穂 (岐阜卓商高2年)		得意の跳馬は振るわなかったが、床で難易度の高いムーンサルトを成功させるなど高得点をマークして3位入賞を果たした。 (富山県：富山市総合体育館)